

# 同窓会報

## 同窓会長挨拶



同窓会会長  
河辺勝巳

同窓会員の皆様には、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は同窓会活動に対し、御理解と協力を賜り厚く御礼申し上げます。

平成十八年同窓会総会が、五月二十一日、渥美農高会議室にて開催され、事業・会計報告・オランダ国際交流事業等の報告が行われました。渥美農高も長い歴史の中で、大きな変革の時を迎えており、これからも地域との連携を深めての理解の中で、更なる発展をめざし人材育成を進めてゆくものと確信しているものです。

渥美半島も一つの田原市となり、自治体別農業産出額、七五九億で全国トップであり、渥美農高は、県内農業高校十校の中で、親が農業という生徒が一番多い学校です。豊橋から渥美にかけて同窓会員が農業経営に頑張っているからこそ結果だと思えます。学校では「カクメロ」の愛称のメロンの研究

## 校長挨拶



校長  
細井直樹

働蜂の校章のもと渥美農業高等学校で勉学に勤しまれた皆様、いかがお過ごしでしょうか。日頃より本校の教育につきまして、多大なご理解とご協力をいただき衷心より感謝申し上げます。

昨年の四月本校に着任し、早いもので一年半が経過しました。昨年夏に同窓会報で報告してからの母校の様子や、微力ながら携わってこられた学校経営の一端を、この紙面をお借りしてお知らせしたいと思います。

生徒につきましては、昨年度より農業・施設園芸科が合計で八十名募集となり、平成十八年度は、一、二年生が四クラス、三年生が五クラスの十三クラス編成となりました。教員の異動については、長年ご勤務いただいた実習教師の富田三人先生が勇退さ

発行  
愛知県立渥美農業高等学校  
同窓会事務局  
TEL 0531-2210406  
FAX 0531-2216462

## 第九回

### 姉妹校派遣研修報告

#### 一期目

平成十八年六月十二日(月)

六月二十三日(金)

#### 二 派遣団員

生徒	農業科	二年	榎原 啓太
		三年	渡会 章代
		二年	安藤 孝志
			藤井 康睦
施設園芸科	二年	上村有季奈	
		三年	伊藤 朋子
生活科学科	二年	大羽由紀恵	
		三年	鈴木 都
			堤 菜々
			中島章雄
職員	福井敏幸	村田智則	

#### 三 研修日程と内容

六月十二日(月) オランダへ向け出発  
六時三十分豊橋駅へ集合し、品川経由で成田空港へ。夕刻スキポール空港到着後、姉妹校職員案内でホテルへ。

六月十三日(火) ホームステイ  
ホテルよりライスイイク校へ移動し歓迎セレモニー。午後はデルフト市内

校開放講座は、今年度も行われて県民から好評です。生徒が毎学期末に行う奉仕作業も、毎回二百名の生徒が参加して地域美化に役立っています。  
今年度九回目となるオランダとの姉妹校交流事業は、今年も同窓会の絶大なバックアップのもと六月十二日から二十三日まで行われました。参加者は九名(男子三名、女子六名)でしたが、教員二名と実習教師一名で引率しました。来年は交流事業十周年となりますので、記念となる事業を現在検討しております。

部活動では、野球部が甲子園大会の予選で九年ぶりに四回戦まで進み大活躍しました。昨年度以後の鈴木紀監督のチーム作りが功を奏しました。また、卓球部はこの夏の県二部リーグで優勝し、初めての一部リーグ入り(六校のうち県立は本校のみ)を果たし、渡辺廣嗣監督は八年かかって当面の夢を現実にしており、今春の県大会へは卓球部のほか常連の陸上部、三年連続となるソフトテニス部が進出しています。農業クラブではプロジェクト発表で、食

料と生活文化の二部門で県大会最優秀となった。

見学、フラワーアレンジメント、歓迎パーティー。  
六月十四日(水) ホームステイ  
午前はフローラを見学し、午後はパブリカ・バラ・ブドウの温室を見学。  
六月十五日(木) ホームステイ  
ライスイイク校にて水質調査・造園等のワークショップを行い、夕方ポールディングを楽しむ。

六月十六日(金) ホームステイ  
各パートナーとそれぞれの職場(花屋・造園業者・観光農園)で終日勤務体験をする。  
六月十七日(土) ホームステイ  
終日アムステルダム市内見学。中国寺院・NAP・レンブラントの家・ダム広場などを見学。

六月十八日(日) ホームステイ  
それぞれの家族と過ごす。  
六月十九日(月) ホームステイ  
午前中よりお別れパーティーの準備をし、パーティー終了後ホテルへ。  
六月二十日(火) ベルギー観光  
ブリュッセルへバスで移動し、市内見学。(グラン・プラス、市庁舎、小僧の像などを見学)

六月二十一日(水) ベルギー観光  
アントワープへ移動し、市内見学。(フラン・ドール伯爵城、聖バフ大聖堂などを見学)ブルージュにてショッピング。  
六月二十二日(木) ベルギー観光  
午前中ブルージュの中心地(マルルクト、聖母教会など)を馬車にて見学。昼

りました。惜しくも東海大会で優秀となり全国大会へは行けませんでした。他方、六月に新聞やテレビで報道されましたように、四角いメロン「カクメロ」の特許をJA愛知みなみとJA豊橋と共同で出願しました。「カクメロ」は昨年の「愛・地球博」や全国産業教育フェアにも展示して紹介され、一個一万円以上で全国から続々と引き合いがあります。さらに、七月には農林水産副大臣が学校を訪問し、生徒と一緒に収穫するなど話題になり、この様子は報道機関のみならず同省のホームページにも載りました。

さて、このように本校生徒は、先生方の指導のもと、学校の諸活動に活躍しており、日常生活においても礼儀正しく挨拶や服装もたいへんに良好な状態で、地域から信頼を得ております。

皆様におかれましては、母校および母校生徒に今後とも変わらぬ温かいご支援とご指導をいただきますよう心からお願いいたします。

食後スキポール空港へ向かい、二十時十五分発のJL412便で成田へ。  
六月二十三日(金) 日本到着  
十三時四十分成田着。品川経由で十八時十二分豊橋駅に到着。  
四 おわりに  
第九回のオランダ姉妹校派遣研修も無事終了することができました。生徒たちは初日から積極的に姉妹校生徒と交流を深め、双方の生徒が別々に行動することも見られず、ライスイイク校の校長先生をはじめ関係者よりお褒めの言葉を頂きました。また、異国の地での勤務体験をはじめとする様々な活動を通じ、それぞれの生徒は大きな収穫を得たに違いありません。こうした機会を与えて頂き感謝致します。

## 「オランダ研修に参加して」

3-E 大羽由紀恵  
私はこのオランダ派遣に参加し、たくさんのご経験を、自分を大きく成長させることができたと思えました。

初日は、初めての海外生活で、友達とも離れ離れで、言葉は英語で話すしか方法がなく、一週間うまくやっていけるのかという不安や心配でいっぱいでした。そんな不安から最初は、日本人で固まってしまう。でもオランダの生徒たちは、そんな私たちに、とてもフレンドリーに話してきてくれました。最初は戸惑っていた私たちも、ごちない英語や身振り手振りで少しずつコミュニケーションをとっていききました。

また、ホームステイ先の家族の方々も解りやすい英語でゆつくりと丁寧に話してくれたり、色々な場所に連れて行ってくれたり、親切にしてくれた。一週間とても快適に過ごすことができました。オランダではとても良い生活を送ることができました。

今年十一月にはオランダの生徒たちが日本に来るので私たちはオランダで楽しませてもらった以上にたくさん楽しませてあげたいと思います。

もし、来年度のオランダ派遣に行こうか迷っている人がいるなら、絶対に参加すべきです。日本では学べない多くのことを自分で見たり聞いたりしてきてほしいと思います。

「農業JAを取り巻く情勢について」  
JA愛知みなみ 代表理事  
組合長 伊藤 康夫 (十二回卒)

去る六月八日四角いメロン「カクメロ」特許出願披露式に出席の機会を得ました。数年ぶりに農高の門をくぐりましたが昔の事が懐かしく思い出して嬉しかったです。校舎は昭和三十年代後半の面影は全くすべてが近代化された時代の流れを実感した一日でした。

さて、農業情勢はWTO農業交渉における農産物の大幅な関税引下げ協議により、生鮮野菜の輸入量が過去最高を記録し、輸入農産物が増加する傾向にあるとともに米国内産牛肉輸入再開が決定するなど、国内農産物価格に影響を与えることが懸念されます。農業政策においても農業従事者の減少・高齢化等による生産基盤の縮小が進む中で、食料農業農村基本計画を受けて経営所得安定対策等大綱が決定され、価格安定政策から所得安定政策に大きく転換することとなりました。JAの事業分割や株式会社の農業への参入についての検討が継続されており、JAグループとしての経済事業改革を実践していくことが強く求められております。五月二十九日に施行されました、ポジティブリスト制度により農産物の安心安全に対する一層の対応が必要となりました。生産履歴記載帳簿のドリフト対策等徹底して行わなくては消費者の信頼を得ることは出来ません。供給する立場として十分な注意をし、取り組むべきだと考えております。

JA愛知みなみにつきましては第二次中期経営計画に基づき経済事業部門の改革を実践し、管内十五の事業所の統合を組合員の皆様のご理解のもとに実施して参りました。これからは第三次中期経営計画に添って改革を進めて参ります。

十七年度は原油高騰と異常気象に振り回された年であったと思いますが、組合員の皆様の努力により、十六年度同様の販売高を計上する事が出来ました。また、購買品供給につきましても合併後最高額を計上することが出来ましたが、一方で施設園芸農家にとつては原油高騰により経営が圧迫されている事も事実です。系統組織の力を充分発揮し安定供給と価格交渉に当たっていただきます。ご理解とご協力を申し上げます。

終わりに、同窓会員の皆様のご活躍と渥美農高の発展をお祈り申し上げます。

「農業JAを取り巻く情勢について」  
JA愛知みなみ 代表理事  
組合長 伊藤 康夫 (十二回卒)



# 平成17年度決算書

## 【支出の部】

項目	当初予算	補正予算	流用増減	流用後 予算額	支出済額	残額	摘要
会議費	55,000	0	△10,000	45,000	43,259	1,741	
総会費	10,000		2,000	12,000	11,164	836	
役員会議費	45,000		△12,000	33,000	32,095	905	4回
事務局費	110,000	0	△34,000	76,000	73,210	2,790	
事務用品費	60,000		△32,000	28,000	26,250	1,750	封筒(5,000枚)
通信費	40,000		8,000	48,000	46,960	1,040	総会案内
事務局費	10,000		△10,000	0	0	0	
事業費	510,000	0	△86,000	424,000	375,334	48,666	
特別事業費	100,000		△8,000	92,000	71,984	20,016	元中村校長 送別会補助
同窓会費	200,000		△20,000	180,000	152,650	27,350	発送、送料含む
支部・OB 育成費	60,000		△39,000	21,000	20,500	500	45回生
卒業品 記念費	150,000		△19,000	131,000	130,200	800	
積立金	300,000	120,000	180,000	600,000	600,000	0	
基金	100,000	100,000	0	200,000	200,000	0	
特別積立 金	200,000	20,000	180,000	400,000	400,000	0	
慶弔費	50,000		△32,000	18,000	17,202	798	3件
予備費	21,000		△18,000	3,000	0	3,000	
合計	1,046,000	120,000	0	1,166,000	1,109,005	56,995	

収入 済額 1,165,578円  
支出 済額 1,109,005円  
差引 残額 56,573円

## 【収入の部】

項目	予算額	決算額	比較増減	摘要
繰越金	90,545	90,545	0	平成16年度より
入会金	955,000	955,000	0	191×5,000円 (54回生)
寄付金	442	0	△442	
雑収入	13	120,033	120,020	預金利息・ 会報購読費
合計	1,046,000	1,165,578	119,578	

## 【平成17年度 会計監査報告】

過日、平成17年度末までの会計監査を実施致しました結果、関係諸帳簿及び領収書等よく整備されており通帳等との残高照合したところ、適切に処理されていたので御報告致します。

平成18年4月28日  
監査 八木 良尚  
高橋 講治

## 平成十八年度人事異動

職名	氏名	敬称略	順不同
教諭	和子	嘉陽	和子
教諭	昌輝	伊東	昌輝
教諭	山本 勝	愛知県立安城農林高等学校	
再任用教諭	山本 勝	退職/本校非常勤	
実習教師	富田 三人	退職/本校非常勤	
期限付講師	小埜 俊郎	退職(滋賀県立信楽高等学校)	
期限付講師	行彦	退職/本校非常勤	
主任	影山 吉代	愛知県立豊橋工業高等学校	
転入	小久保 昌文	愛知県立成章高等学校	
教諭	山田 かの子	愛知県立福江高等学校/再任用	
教諭	石黒 勝大	愛知県立渥美農業高等学校/再任用	

## 『温丸知角』

### カクメロ全国に発信

四角いメロンプロジェクト担当教諭  
加藤 俊樹

「温故知新。ふるきをたずねて新しきを知る」ことである。四角いメロン「カクメロ」は、その斬新な外観から丸いマスクメロンと異質なものに感じられるかもしれない。研究開始から五年目を迎えるが、研究が進展すれば、その度にいつも丸いマスクメロンの栽培を振り返る。多くの先人が残した知恵や技術を学び、四角いメロンに活用させることがこのプロジェクトの基本である。丸いマスクメロンから新しい四角いメロンの栽培技術が生まれる。まさに「温丸知角」である。

平成元年に渥美農高に赴任した私は、伊藤喜彦先生と共にスリークォーター温室の担当になり、マスクメロン栽培の知識・技術を学んだ。学校で採種した純系の品種を接ぎ木して、金網床に定植したメロンを手漕ぎで管理して収穫した。超集約的な施設園芸であった。当時の松井三幸校長が時折温室に来てアドバイスをしてくれた。私は、いつか「立派なマスクメロンを作りたい」という欲求が募り夢中になっていた。この頃の思いが今の私を支えている。この渥美半島は、マスクメロンの産地である。



展示販売される渥美農高産「カクメロ」(神奈川県の百貨店)



渥美農高で収穫した「カクメロ」を手にする  
中川前農林水産大臣

が、栽培面積は、平成に入ってから激減している。良いマスクメロンを作ってもブランド力が弱いので市場で高値が付かない。そんな現状に「悔しさ」を感じる。今年カクメロを希望小売価格一万円で作った。高価格にビックリする人もいるが、贈答品・贅沢品というコンセプトで商品開発をしている。常に高価格に見合う付加価値を追求している。何よりも栽培者に夢を抱いて欲しいと考えた。

平成十四年、温室野菜専攻生の提案でこのプロジェクトが始まった。平成十五年に初めてマスクメロンの取材を受け、平成十六年には、農業クラブのプロジェクト発表会で全国大会出場、平成十七年「カクメロ」として商標登録、愛知万博に出展した。今年、JA愛知みなみ・JA豊橋と共に同特許を出願、七月には農林水産副大臣がカクメロ現地調査のために来校し、後日農林水産大臣に報告された。そして夏に

は、カクメロを出荷。東京・名古屋等の果実取扱店で一個一万円から二万円で作成販売され、商品化を実現した。今後の目標は、中原・豊橋地域でカクメロを特産品として産地形成することである。特許を出願したことにより四角いメロンの栽培優先権は、渥美半島に確保されている。同窓生の皆さんや地域の方々、この地で磨き築いた栽培技術を活かし、このプロジェクトを成功させたいと思う。そして、渥美農高生徒の情熱と努力から生まれた「カクメロ」の研究成果を残し、渥美農高の潜在能力の高さを「カクメロ」と共に全国に発信していきたいと考えている。

## 平成十八年度 農業クラブ活動成績

プロジェクト発表会県大会 (6/7)	最優秀	ハウス野菜専攻
プロジェクト発表会県大会 (6/20)	最優秀	野菜部
家畜審査競技会 (6/13)	優秀	鈴木彰人
種豚の部	優秀	栗森伸佳
乳牛の部	優秀	河合 真
東海プロジェクト発表会(8/21)	優秀	ハウス野菜専攻
食料区分	優秀	野菜部
文化・生活区分	優秀	野菜部

## 各部対外競技成績

陸上競技部活動成績	愛知県高等学校総合体育大会 陸上競技大会東三河地区予選会 (5/3・4)	男子やり投 二位 夏目直英	女子やり投 六位 仲谷静香
兼団体東三河予選会 (6/10・11)	男子走幅跳 四位 鈴木彰人	女子走幅跳 四位 鈴木彰人	男子三段跳 二位 鈴木彰人
東三河高等学校一年生陸上競技大会 (7/22)	男子走幅跳 二位 鈴木康太	女子やり投 四位 仲谷静香	男子三段跳 五位 夏目直英

## 柔道部活動成績

東三河高校体育大会 (7/30)	90kg級 三位 鈴木隆広	
100kg級 三位 藤城大紀		
100kg超級 三位 佐藤弘太		
ソフトテニス部活動成績	東三河予選大会 (4/19・22・23)	男子個人戦 五位 渡会卓也
男子個人戦 九位 田中友也		
東三河予選大会 (7/15)	男子個人戦 九位 渡会卓也	

## 卓球部活動成績

卓球部活動成績	平成18年度愛知県高等学校 卓球選手権大会 (9/16・17)	男子やり投 一位 夏目直英
男子個人戦 三位 鈴木康太		
女子個人戦 三位 鈴木康太		
東三河予選大会 (9/30)	男子個人戦 二位 鈴木康太	
女子個人戦 六位 仲谷静香		

## 男子バレーボール部活動成績

男子バレーボール部活動成績	東三河予選大会 (9/23)	男子個人戦 七位 山田十五
男子個人戦 九位 伊藤伸幸		
東三河予選大会 (10/7)	男子個人戦 二位 吉田栄介	
男子個人戦 五位 伊藤伸幸		

## 吹奏楽部活動成績

吹奏楽部活動成績	東三河予選大会 (9/9)	代表決定戦 本校 0-2 豊橋中央
東三河予選大会 (9/9)	本校 2-0 蒲田東	
本校 2-1 豊丘		
本校 0-2 豊橋中央		

# 第56回 農高祭

輝け農高 広がれ 農業の輪

期日 11月11日(土)  
公開時間 9:30~13:00  
場所 愛知県立渥美農業高等学校



第46回東海卓球選手権大会県予選 (9/16)	ジュニア男子 予選通過	二位 井本貴裕	一位 近藤優策
二位 布藤治樹	一位 玉越弘晃		

男子	本校 3-1 鳳来寺
本校 1-2 小坂井	
本校 2-3 小坂井	
女子	本校 3-1 刈谷北
本校 1-2 豊橋西	

男子	本校 13-4 木曾川
本校 5-1 向陽	
本校 5-9 岡崎城西	
女子	本校 3-1 鳳来寺
本校 1-2 小坂井	
本校 2-3 小坂井	